建設業経理士検定試験対策講座

受講ガイド

2022年9月目標

●ビデオブース講座

●Ｗｅｂ通信講座

●ＤＶＤ通信講座

●資料通信講座

◆TAC WEB SCHOOL マイページでできること◆

Web動画視聴

Web通信生は、Web講義視聴や講義音声のダウンロード(本科生のみ)はもちろん、学習の進捗管理も簡単にできます！

質問メール・採点答案閲覧

Web通信生とDVD通信生は、質問メールをご利用いただけます！

全学習メディアの方の採点済み的中答練は、マイページ上でのみ閲覧いただけます！

関連情報の入手

本試験申込に関するご案内や講座からの大切なご案内、資格に関する情報などを、まとめて入手できます！

資格の学校

TAC

建設業経理士検定試験について

必ずご確認ください

建設業経理士検定試験は毎年２回、９月と３月（令和３年度参考）に実施されます。本試験の流れにつきましては下記にご案内いたしますが、変更となる場合もございますので予めご承知おきください。なお、**ＴＡＣでは受験申込の代行は行っておりません。受験申込手続は必ず皆様方ご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。**

【第31回（令和４年度上期）】2022年９月上旬～中旬　試験実施予定

◎ 受験願書の配付

建設業振興基金または都道府県建設業協会等の窓口または郵送でご請求ください。

◎ 受験申込受付

受験申込書郵送・インターネット　2022年５月中旬～６月中旬予定

◎ 受験料（消費税込／参考:令和3年度下期）

２級：7,120円・１級３科目：14,720円／１級２科目：11,420円／１級１科目：8,120円

※ 受験料には、受験申込書で申し込む場合は申込書代として320円（消費税込）が、インターネットで申し込む場合はネット申込手数料として320円（消費税込）が含まれています。
※ １級と２級の同時受験はできません。

◎ 試験日

2022年９月上旬～中旬　試験実施予定

◎ 受験資格

制限なし

◎ 合格発表

2022年11月上旬～中旬予定

※ 上記の試験概要は、変更となる場合がございます。必ず、建設業振興基金ホームページにてご確認ください（2022年4月下旬発表予定）。

◆ 建設業経理士検定試験に関する詳細は下記までお問い合わせください。

一般財団法人建設業振興基金 経理試験課
ＴＥＬ　03-5473-4581〈 9:00～12:00、13:00～17:30（土日・祝日を除く)〉
ＨＰ　https://www.keiri-kentei.jp/

はじめに

この度は、ＴＡＣ建設業経理士検定講座をご受講いただきまして誠にありがとうございます。本書は、当講座を受講される方のため教材や各種フォローサービス等に関するご案内をまとめた“講座別受講ガイド”です。別途掲載しております『ＴＡＣ利用ガイド』と併せてご覧ください。また、受講終了までご利用いただくものとなりますので、よろしくお願い申し上げます。

ＴＡＣは合格のために必要な知識や受験テクニックを受講生の皆様に効率よく提供することにより、最短距離で合格していただくことを第一の目的と考えております。したがって、本書はこれから建設業経理士検定試験合格を目指すにあたり、受講生の皆様にどのように当講座を利用していただくか、その効果的な活用方法を項目ごとに要約しております。

皆様が合格を勝ち取れますよう、ＴＡＣ建設業経理士検定講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

ＴＡＣ建設業経理士検定講座

建設業経理士講座　受講ガイド

CONTENTS

通学メディア・通信メディア共通編

１．会員証について　P04
２．講義・教材について　P06
３．演習・答練について　P10
４．公開模試について　P11
５．質問・相談について　P11
６．各種フォロー・サービス対応表　P14
７．各種サービス提供期限一覧　P16
８．教育訓練給付制度について　P17

ビデオブース講座編

１．答練等の受講、答案の採点および成績発表について　P20
２．答練・演習の教室振替について　P22
３．もう一度講義を受講したい場合　P22

通信メディア編

１．教材発送について　P24
２．答案添削の流れ　P25
３．i-support　P29
４．スクーリング　P30

日程表

１．ビデオブース視聴日程・Ｗｅｂ配信・通信教材発送日程について　P32

オリエンテーション編

１．試験概要　P36
２．日商簿記検定との違い　P37
３．傾向と対策　P40

巻末

１．住所変更手続き（変更届出書）
２．質問カード
３．新規入会者紹介制度
４．ＮＥＸＴ割引
５．お問い合わせ先一覧
６．ＴＡＣ MAP

マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要がございます。
登録をまだ行われていない場合は、[https://portal.tac-school.co.jp]にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

以下については別冊「ＴＡＣ利用ガイド」または TAC WEB SCHOOL をご覧ください。

通学メディア・通信メディア共通編

１．講座開始日と受講期間
２．会員証について
３．マイページ登録について
４．講義出席状況の確認
５．施設利用上の注意事項
６．自習室について
７．日程変更について
８．教材を紛失した場合
９．住所等を変更される場合　※
10．在籍証明書・履修証明書について
11．ＴＡＣ利用上の注意事項
12．災害時の対応・行動

教室講座・ビデオブース講座編

１．教室講座受講上の諸注意
２．欠席した場合の教材受け取り
３．ビデオブース講座受講上の諸注意
４．ビデオブースの利用方法
５．ビデオブースの予約

通信メディア編

１．教材発送について
２．TAC WEB SCHOOL 利用方法
３．TAC WEB SCHOOL に関するＦＡＱ

※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は当受講ガイド巻末に収録しています。

通学メディア・通信メディア共通編

1　会員証について

ＴＡＣ受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。
会員証は、皆様がＴＡＣの受講生であることを証明する大切なものです。ＴＡＣご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

１．会員証について

（１）会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
（２）会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりに出席したものとして扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
（３）会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の３倍の料金を申し受けます。
（４）会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

２．会員証はこのような場面で使用します

（１）教室講義への出席時やビデオブースを利用する時には、会員証を提示してください。
教室で講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。（通信メディアの方がスクーリングを利用する際も同様です）。
ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。
※もし会員証を忘れてしまったら…
講義を受ける前に、受付にて「仮受講証」の交付を受けてください。
「仮受講証」の交付がない場合には、講義の受講ができません。
（２）教材を受け取る際には、会員証を提示してください。テキスト等使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
（３）クラス振替出席フォロー・クラス重複出席フォローをご利用の際は、会員証をお持ちください。専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。
（４）自習室利用の際にも会員証を携帯してください。スタッフが会員証の確認・スキャンを行う場合があります。
また、お申込みのコースによっては自習室をご利用できない場合があります。詳しくは、『ＴＡＣ利用ガイド』の通学メディア・通信メディア共通編「**6自習室について**」をご確認ください。

３．会員証の有効期限

（1）会員証には、有効期限が表示されています。ＴＡＣサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。

（2）会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。

（3）会員証の有効期限は、ＴＡＣサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

４．会員証の書替手続き

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（模擬試験の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

５．会員証を紛失した場合

（1）受付窓口で再発行いたします。その際、①「身分証明書（運転免許証など）」②「証明写真（３ｃｍ×2.４ｃｍ。紛失した会員証の枚数＋１枚）」③「印鑑」をご用意ください。

（2）再発行の際は、再発行手数料［会員証１枚につき５００円（税込）］がかかります。

（3）再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものとして扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。
また、各講座の無料再受講制度についてはご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

（4）会員証の再発行には１週間程度の期間を要します。

2 講義・教材について

１．講義一覧

【１級対策コース】単科申込の場合は、該当講義名のみをご確認ください。

講義名	内容	総合本科生	財務諸表本科生	財務分析本科生	原価計算本科生	的中答練セット
財務諸表講義	１級「財務諸表」合格に必要な基礎知識・重要ポイントを全13回の講義で学習していきます。講義受講後は、「問題編（トレーニング）」で「テキスト編」（講義）の内容を理解しているかを確認しましょう。 ※ 改正・総まとめ講義１回が含まれます。	●	●	－	－	－
財務分析講義	１級「財務分析」合格に必要な基礎知識・重要ポイントを全11回の講義で学習していきます。講義受講後は、「問題編（トレーニング）」で「テキスト編」（講義）の内容を理解しているかを確認しましょう。 ※ 改正・総まとめ講義１回が含まれます。	●	－	●	－	－
原価計算講義	１級「原価計算」合格に必要な基礎知識・重要ポイントを全11回の講義で学習していきます。講義受講後は、「問題編（トレーニング）」で「テキスト編」（講義）の内容を理解しているかを確認しましょう。 ※ 総まとめ講義１回が含まれます。	●	－	－	●	－
財務諸表的中答練	１級「財務諸表」の予想問題の演習・解説を全３回で実施致します。	●	●	－	－	●
財務分析的中答練	１級「財務分析」の予想問題の演習・解説を全３回で実施致します。	●	－	●	－	●
原価計算的中答練	１級「原価計算」の予想問題の演習・解説を全３回で実施致します。	●	－	－	●	●

各コースで実施する講義に●印がついています。

【２級対策コース】

講義名	内容	２級本科生（日商３級講義付）	２級本科生	２級セット日商２級修了者用	２級講義	２級的中答練
日商３級講義	簿記を初めて学習する方を対象に日商簿記検定３級の講義で簿記の基本を身につけます。	●	－	－	－	－
２級講義	２級合格に必要な基礎知識・重要ポイントを全13回の講義で学習していきます。講義受講後は、「トレーニング」で「テキスト」の内容を理解しているかを確認しましょう。 ※ ２級講義には、改正・総まとめ講義１回が含まれます。	●	●	－	●	－
日商２級修了者用２級講義	日商簿記検定２級と建設業経理士検定２級の違いを全２回で学習していきます。	－	－	●	－	－
２級的中答練	２級の予想問題の演習・解説を全４回で実施致します。	●	●	●	－	●

各コースで実施する講義に●印がついています。

２．コース別配布教材一覧

【１級対策コース】

講義名	内容	総合本科生	財務諸表本科生	財務分析本科生	原価計算本科生	的中答練セット
財務諸表講義	・合格テキスト&合格トレーニング （建設業経理士１級財務諸表 Ver.5.0） ・補助問題集【ビデオブース講座のみ】 ・添削問題（全３回）【通信メディアのみ】	●	●	－	－	－
財務分析講義	・合格テキスト&合格トレーニング （建設業経理士１級財務分析 Ver.2.0） ・補助問題集【ビデオブース講座のみ】 ・添削問題（全３回）【通信メディアのみ】	●	－	●	－	－
原価計算講義	・合格テキスト&合格トレーニング （建設業経理士１級原価計算 Ver.2.0） ・補助問題集【ビデオブース講座のみ】 ・添削問題（全３回）【通信メディアのみ】	●	－	－	●	－
財務諸表的中答練	財務諸表的中答練　第１回～第３回	●	●	－	－	●
財務分析的中答練	財務分析的中答練　第１回～第３回	●	－	●	－	●
原価計算的中答練	原価計算的中答練　第１回～第３回	●	－	－	●	●

※ 教材の訂正情報について

配布教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOL にて公開しています。
マイページへログイン後、学習フォローの［**正誤情報**］メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

【２級対策コース】

講義名	内容	２級本科生（日商３級講義付）	２級本科生	日商２級修了者用２級セット	２級講義	２級的中答練
日商３級講義	・合格テキスト(日商簿記３級 Ver.13.0) ・合格トレーニング(日商簿記３級 Ver.13.0) ・実力テスト【通信メディアのみ】	●	−	−	−	−
２級講義	・合格テキスト（建設業経理士２級 Ver6.0) ・合格トレーニング（建設業経理士２級 Ver6.0) ・補助問題集【ビデオブース講座のみ】 ・添削問題（全３回）【通信メディアのみ】	●	●	−	●	−
日商２級修了者用２級講義	・合格テキスト（建設業経理士２級 Ver6.0) ・合格トレーニング（建設業経理士２級 Ver6.0)	−	−	●	−	−
２級的中答練	的中答練　第１回～第４回	●	●	●	−	●

※ 教材の訂正情報について

配布教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOL にて公開しています。
マイページへログイン後、学習フォローの［**正誤情報**］メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

3　演習・答練について

演習や答練の実施は、種類によって異なります。答案返却方法も合わせてご確認ください。
「添削問題」は郵送での返却、「的中答練」はＷＥＢ　ＳＣＨＯＯＬのマイページ上に答案データをＵＰしての掲載とさせていただきます。

◆実施テスト類一覧

【１級対策コース】

テスト名	回数	内容	問題数	解答時間	返却方法	
					ビデオブース講座	通信講座
財務諸表添削問題	第１回	テーマ１～14	３問	－	－	ＴＡＣ到着後、約２週間で郵送返却
	第２回	テーマ15～24	４問			
	第３回	テーマ25～34	４問			
財務分析添削問題	第１回	テーマ１～9	５問	－	－	ＴＡＣ到着後、約２週間で郵送返却
	第２回		５問			
	第３回		５問			
原価計算添削問題	第１回	テーマ１～15	３問	－	－	ＴＡＣ到着後、約２週間で郵送返却
	第２回		３問			
	第３回		４問			
財務諸表的中答練	第１回	財務諸表の本試験予想問題です。	５問	90分	答案提出後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載	ＴＡＣ到着後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載
	第２回		５問			
	第３回		５問			
財務分析的中答練	第１回	財務分析の本試験予想問題です。	５問	90分	答案提出後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載	ＴＡＣ到着後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載
	第２回		５問			
	第３回		５問			
原価計算的中答練	第１回	原価計算の本試験予想問題です。	５問	90分	答案提出後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載	ＴＡＣ到着後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載
	第２回		５問			
	第３回		５問			

※ 転居などでご住所に変更がございましたら、巻末の「変更届出書」で各受付窓口もしくは郵送・ＦＡＸにてご提出ください。

【２級対策コース】

テスト名	回数	内容	問題数	解答時間	返却方法	
					ビデオブース講座	通信講座
日商簿記3級実力テスト	全１回	日商簿記３級全範囲の基礎知識の確認です。	４問	120分	−	ＴＡＣ到着後、約２週間で郵送返却
添削問題	第１回	建設業会計	５問	−	−	ＴＡＣ到着後、約２週間で郵送返却
	第２回	一般会計	３問			
	第３回	総合問題	５問			
的中答練	第１回	２級の本試験予想問題です。	５問	120分	答案提出後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載	ＴＡＣ到着後、約２～３週間でマイページへＷｅｂ掲載
	第２回		５問	120分		
	第３回		５問	120分		
	第４回		５問	120分		

※ 転居などでご住所に変更がございましたら、巻末の「変更届出書」で各受付窓口もしくは郵送・ＦＡＸにてご提出ください。

4　公開模試について

当該講座につきましては公開模試の実施はございません。

5　質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、わからないままにせず、解決しておきましょう。

学習メディア・受講コースによって質問体制は以下のようにご用意しております。

１．質問カード（ビデオブース講座・Ｗｅｂ通信講座・ＤＶＤ通信講座）

巻末の質問カードに会員番号・氏名・質問事項を記入し、ビデオブース講座の方は各校受付窓口に、ＤＶＤ通信講座の方は郵送にてそれぞれご提出ください。

※ 質問１回につき、質問事項は１項目にてお願いします。

※ 質問をいただいてから約２週間で回答します。時期や内容により、３週間程度かかる場合もございます。

※ 質問カードの提出締切は、通学メディア・通信メディア共通編「７**各種サービス提供期限一覧**」をご覧ください。

※ 質問カードは、ご自身でコピーしてご使用ください。

※ 質問カードの利用回数は10回までとなります（**質問メールと通算**）。

※ 本試験日間近のご提出の場合、本試験日までにご返却できない場合がございます。予めご了承ください。

※ 資料通信講座は対象外となります。

質問カード見本

建設業経理士検定講座　質問カード

【通信メディア用】　～ご協力をお願いします～
回答対象：合格目標年月本試験日の2週間前までのTAC受付分。
利用に際しての上限回数：受講ガイドP.21を参照してください。

氏名　水道橋 花子　様
会員番号　0123456789

申込コース
（ ）1級（科目名：　　）
（○）2級、2級（日商3級講義付）
（ ）日商2級修了者用2級パック、その他

受講形態　（ ）DVD通信講座・（○）Web通信講座

教材　合格テキスト
科目
ページ　143ページ

※コース、教材名は詳しく記入してください。
※教材名のないもの、試験対策と直接関係のない質問は受付できません。
※質問カード1枚につき、1件の質問にしてください。
※本カードが複数枚必要な場合は、事前に両面コピーをしてください。
※裏面に返却先の住所氏名を記入してください。

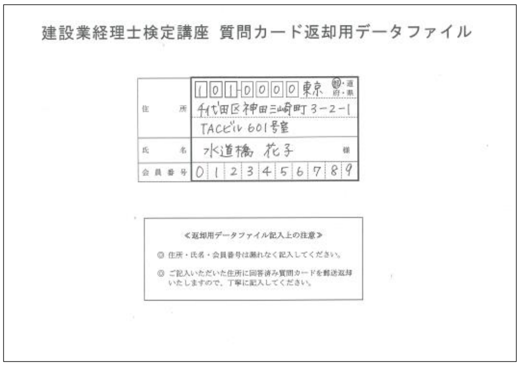
送付先　〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町3-2-18
TAC建設業経理士検定講座　行

質問事項：
[仕訳例14]で
（建物）　20,000,000　（当座預金）　5,000,000
（営業外支払手形）　15,000,000
とありますが、なぜ営業外支払手形で処理をするのでしょうか。

≪ご質問ありがとうございました。裏面に返却先の住所と氏名を忘れずご記入ください。≫

回　答：1．添付資料をご参照ください。　2．下記回答をご参照ください。

講師名：


建設業経理士検定講座 質問カード返却用データファイル

住所　101-0000 東京都・道・府・県
千代田区神田三崎町3-2-1
TACビル601号室

氏名　水道橋 花子　様

会員番号　0123456789

≪返却用データファイル記入上の注意≫
◎ 住所・氏名・会員番号は漏れなく記入してください。
◎ ご記入いただいた住所に回答済み質問カードを郵送返却いたしますので、丁寧に記入してください。

※ 宛名欄は返却時にそのまま宛名として使用いたします。正確にご記入ください。

※ 使用教材・ページ数を必ずご記入ください。

※ 質問内容は具体的にご記入ください。

２．質問メール（Ｗｅｂ通信講座・ＤＶＤ通信講座）

i-support内に付属している質問メールにてご質問していただくことができます。

※ 質問１回につき、質問事項は１項目にてお願いします。

※ 質問をいただいてから約２週間で回答します。

※ 質問メールの利用方法は通信メディア編「3 **i-support**」をご参照ください。

※ 質問メールの利用回数は10回までとなります（**質問カードと通算**）。

※ 質問メールの最終締切日は、通学メディア・通信メディア共通編「7 **各種サービス提供期限一覧**」をご覧ください。

※ 資料通信講座は対象外となります。

３．質問電話（全コース共通）

（１）実施時間帯　　（〇実施コマ）

	月	火	水	木	金
14:00～17:00	○	×	○	×	○
18:00～20:00	○	×	○	×	○

※ 土日、祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆の期間はお休みとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

・試験の実施日程や諸般の事情により、実施日程に変更が生じる場合がございます。その際は確定次第お知らせいたします。

・上記日時以外にお電話いただきましても、ご対応することはございません。また、各校受付にお電話いただきましても、ご対応することはできません。

〈電話番号〉電話番号はTAC WEB SCHOOLをご確認ください。

（2）質問電話利用時の流れ

―まず担当講師は、皆さんに以下について伺います―

① 会員番号、お名前をお伝えください

② 受講されているコース名をお伝えください

③ 受講されている学習メディアをお伝えください

※ 上記の①～③が不明な場合は質問を受け付けることができません。ご注意ください。

―次に、ご質問の箇所について明確にお話しください―

④ 科目名および質問したいテキストや問題集等の名称

⑤ 何ページ（科目名も含め）のどの部分について

⑥ 何をどのように疑問に思ったのか

予めご自分の質問内容が整理されていますと、講師も短時間で回答できますし、より具体的に説明することが出来ます。

《注意事項》下記事項を予めご了承くださいますようお願いいたします。

※ ご質問の際、講師の指名等には応じかねます。

※ 多くの方にご利用いただくため、１コマ１回あたり20分程度のご利用をお願いする場合がございます。

※ 質問が集中し、実施時間帯であっても通話中となる場合がございます。

※ 17:00もしくは20:00終了間際のご質問の場合、内容によっては翌営業日以降に対応をさせていただく場合がございます。

※ 正確な回答に徹するため、講師が調べて確認するためのお時間をいただく場合がございます。その場合には、１度受話器を置かせていただきます。確認が終わり次第、質問を受けた講師から折り返し回答いたします。

４．質問内容について

受講講座以外の教材（市販書籍、過去の教材、他の資格専門学校で使用される教材、他社で発行されている問題集やテキスト）についての質問や、当該試験の学習範囲を逸脱している質問、他資格に関する質問にはお答えできません。

受け付けできない質問内容の場合は、回答をしないで返却させていただきます。予めご了承ください。

★ 質問内容は具体的かつ簡潔に記入してください。ご利用の際は、以下の内容にご注意ください。

（1）皆様から寄せられる質問カード・質問メールには、辞書やテキスト等で調べれば分かるものもあります。「わからない」と思ったら、まずできるだけ自分で調べてみましょう。時間はかかるかもしれませんが、そうやって身につけた知識は決して忘れない

ものです。

（2）質問カード・質問メールは上手に使って実力アップを図るために、どのテキストの何ページに書いている事柄の、何がわからないのかをできるだけ詳しく書いてください。質問が具体的であればあるほど、講師も確実に回答することができます。

6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、お申込みのコース、学習メディアに応じて下表の通りとなります。

	１級対策コース※1		２級対策コース※1	
	ビデオブース講座	通信メディア	ビデオブース講座	通信メディア
クラス振替出席フォロー	―	―	―	―
ビデオブース振替フォロー	―	―	―	―
校舎間自由視聴制度	●	―	●	―
クラス重複出席フォロー	―	―	―	―
ビデオブース重複フォロー	◎ (500円/回)	―	◎ (500円/回)	―
Ｗｅｂフォロー	―	―	―	―
音声ＤＬフォロー	―	※2	―	※2
追っかけフォロー	―	―	―	―
教室出席フォロー	―	―	―	―
スクーリング	―	―	―	―
i-support	●	●	●	●
質問メール	―	●※3	―	●
質問電話	●	●	●	●
質問カード	●	●※3	●	●

「 ● 」：利用可　「 ◎ 」：有料サービス　「 ― 」：該当なし

※1　各級の全コース形態（本科生・セット生・単科生）が対象です。
※2　本科生のＷｅｂ通信講座は音声ＤＬフォローが標準装備です。
※3　資料通信講座を除きます。

クラス振替出席フォロー	ご都合により出席できない場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手続き不要）。　※当該講座に当制度はございません。
ビデオブース振替フォロー	ご都合により出席できない場合、ビデオブース講座を受講できる制度です［要予約・１講義 500 円（税込）］。※当該講座に当制度はございません。
校舎間自由視聴制度	申込登録校舎以外でビデオブース講座を受講できる制度です。 なお、講座を開講している校舎（※欄外参照）に限ります。
クラス重複出席フォロー	もう一度受講したい場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手続き不要）。　※当該講座に当制度はございません。
ビデオブース重複フォロー	もう一度受講したい場合、ビデオブース講座を受講できる制度です〔要予約・1 講義 500 円（税込）〕。なお、講座の指定した講義に限ります。
Ｗｅｂフォロー	教室講義を収録した動画をＷｅｂにて視聴できます。 ※当該講座に当制度はございません。
音声ＤＬフォロー	教室講義を収録した音声をパソコンにダウンロードできます。 ※本科生のＷｅｂ通信講座のみ音声ＤＬフォローが標準装備です。
追っかけフォロー	開講日後に申し込みの場合、ビデオブース講座にて教室講座の日程に追いつける制度です（要予約・手数料不要）。※当該講座に当制度はございません。
教室出席フォロー	特定の講義に関して、教室講座に出席できる制度です（手続き不要）。 ※当該講座に当制度はございません。
スクーリング	ＴＡＣ各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。 ※当該講座に当制度はございません。
i-support	インターネットを用いたフォロー制度の総称で、「質問メール」「よくある質問」「正誤情報」「ｉ-コミュニティ」「講師からのメッセージ」の５つのメニューから構成されています。 ※質問メールは、Ｗｅｂ通信講座・DVD通信講座のみご利用いただけます。
質問メール	i-support の機能を使ってメールでご質問いただける制度です。
質問電話	学習上の疑問点について講師・スタッフがお電話で回答します。
質問カード	学習上の疑問点をご記入いただき、講師・スタッフが回答します。

※【ビデオブース講座開講校舎】
札幌校・池袋校・渋谷校・八重洲校・立川校・横浜校・大宮校・名古屋校・梅田校・なんば校

7 各種サービス提供期限一覧

建設業経理士検定対策講座
各種サービス提供期限一覧　[2022 年 9 月目標]
各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。
会員証有効期限　2022/9/30（会員証記載）

サービス内容	期限	詳細
通学メディアの教材受け渡し請求期限	2022/9/30	受け渡し請求期限付近は、在庫状況により請求当日のお渡しが難しい場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース（フォロー）視聴期限	2022/9/30	ビデオブースのご予約は、2022/9/29 までにお手続きください。
通信メディアの教材問い合わせ期限	2022/9/30	期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
講義動画・講義音声ダウンロード利用期限	2022/9/30	期限後は講義などの視聴ができなくなります。
i-support 利用期限	2022/9/30	期限後はご利用できなくなります（質問メールは下記参照）。
質問カード・質問メール	2022/9/30 TAC必着	本試験までに質問回答できるのは、2022/9/22 ＴＡＣ到着分までとさせていただきます。
質問電話利用期限	2022/9/30	期限後はご利用できなくなります。
答案提出期限	2022/9/30 TAC必着	本試験までに返送（Ｗｅｂ閲覧）できるのは、2022/9/22ＴＡＣ到着分までとさせていただきます。
Ｗｅｂ成績閲覧期限	2022/9/30	期限後は TAC　WEB　SCHOOL へのログインができなくなり、成績表が閲覧できなくなります。

８　教育訓練給付制度について

当該講座につきましては一般教育訓練給付制度の対象ではございません。

ビデオブース講座編

1 答練等の受講、答案の採点および成績発表について

１．答練等の受講について

ご視聴いただく講義は解説講義のみとなります。

受講に際しては、以下のいずれかの方法で解答し、その後、講義をご視聴ください。

（1）ビデオブースで解答

（2）自習室にて解答

（3）自宅に問題を持ち帰って解答

２．答案の提出・返却について

（1）答案の提出について

答案の提出は、各校舎の受付窓口へお願いいたします。

お申込みの講座や登録コース、受講形態によっては自己採点していただくものがございます。詳しくは通学メディア・通信メディア共通編「**３演習・答練について**」をご確認ください。

（2）答案の提出期限について

お申込みの講座や登録コースによっては各答練に提出期限がある場合がございます。提出期限については、通学メディア・通信メディア共通編「**７各種サービス提供期限一覧**」にてご確認ください。

（3）答案の返却について

答練・演習の成績結果は、約２～３週間後より TAC WEB SCHOOL にて確認できます。

※お申込みの講座や登録コースによっては、各校舎受付窓口にて返却する場合もありますので、詳細は受付窓口でご確認ください。

※お申込みの講座や答練内容によっては、成績表のみの返却とさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

（4）返却答案の保管期限

返却答案の保管期限を講座ごとに定めています。保管期限を過ぎた答案は処分いたしますので、各自お早めにお持ち帰りください。保管期限につきましては、通学メディア・通信メディア共通編「**７各種サービス提供期限一覧**」にてご確認ください。

当該講座につきましては、添削答案の掲載期間は、会員証有効期限まで閲覧することができます。

デジタル添削およびＷｅｂ閲覧のご案内

１．的中答練の答案の返却について

ご提出いただきました的中答練の答案につきましては、Ｗｅｂ上にＵＰしての掲載・閲覧となります。受付窓口での返却はございません。

２．答案の提出について

答案用紙の会員番号・氏名・生月日欄を必ずご記入ください。記載に不備がございますと、Ｗｅｂ上にＵＰできない場合がございますのでご注意ください。

３．マイページの登録について

添削後の答案を閲覧いただく際には、ＷＥＢ　ＳＣＨＯＯＬのマイページ登録が必要となります。マイページ登録の仕方については、別冊『ＴＡＣ利用ガイド』をご覧ください。

４．添削答案のＷｅｂ掲載について

ご提出いただきました答案は、答案提出後もしくは答案のＴＡＣ到着後、約２～３週間で、ご登録いただきましたマイページに掲載されます。添削答案の掲載期間は、会員証有効期限まで閲覧できます。

５．添削答案の掲載場所について

添削された答案は、ＷＥＢ　ＳＣＨＯＯＬのマイページの「学習記録」欄に掲載されます。
こちらのボタンよりお進みください。

2　答練・演習の教室振替について

当該講座につきまして教室振替はございません。

3　もう一度講義を受講したい場合

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

対象コース・対象講義等は下記をご確認ください。また、利用方法等が校舎によって異なる場合がございます。詳細は各校受付にお問い合わせください。

１．対象コース：【１級】１級総合本科生、１級財務諸表本科生、１級財務分析本科生、
１級原価計算本科生、１級財務諸表講義、１級財務分析講義、
１級原価計算講義
【２級】２級本科生（日商３級講義付）、２級本科生、２級講義

２．対象講義：**申込コースに含まれている講義のみとなります。**
【１級】１級財務諸表講義、１級財務分析講義、１級原価計算講義
【２級（日商３級講義付）】日商３級講義、２級講義
【２級】２級講義

３．回数：各講義１回

４．利用方法：**ビデオルームでのご利用となります。**
※一回あたり 500 円（税込）の利用料金がかかります。
※ビデオブースのご利用には、事前に予約が必要です。
※ ビデオブース講座開講校舎のみでご利用いただけます。

【ビデオブース講座開講校舎】
札幌校・池袋校・渋谷校・八重洲校・立川校・横浜校・大宮校・名古屋校・
梅田校・なんば校

通信メディア編

1　教材発送について

１．教材等の到着日

日程表記載の教材発送日は、ＴＡＣから出荷する日付です。受講生の皆さんの自宅への到着は、地域によって異なりますが、目安としてＴＡＣ発送日の１日～４日後となります。

お届けの際にご不在の場合は、「不在連絡票」が入れられますので、ご確認の上、教材をお受取りください。

なお、初回発送日以降に申し込まれた方には、経過分をまとめて発送いたします。

※通信講座の受講生に向けた、出荷荷物番号が確認できるサービスもご用意しております。
TAC WEB SCHOOL をご確認ください。

２．教材等の確認

毎回「送付明細表」を添付しておりますので、教材等がお手元に届きましたら、まずは内容のご確認をお願いします。

３．教材発送に関するお問い合わせ

教材の発送漏れ、教材の乱丁・落丁等がありましたら、発送日より１ヶ月以内に送付明細表に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

※お問い合わせ先は TAC WEB SCHOOL をご確認ください。

なお、会員証記載の有効期限後の請求には応じられません。予めご了承ください。

2　答案添削の流れ

1．添削システム

【ＴＡＣ】
問 題 発　送

発送日程にしたがって問題が発送されます。

【受講生の皆さん】
答案作成・提出

計画的に学習し、必ず答案を提出しましょう。
※最終提出締切日（通学メディア・通信メディア共通編「7 **各種サービス提供期限一覧**」参照）を過ぎますと、採点は行いませんので厳守してください。

【ＴＡＣ】
答案返却・解答発送

提出された答案は、採点して返却します。
■答案返却までの目安は、ＴＡＣ到着後、約２～３週間です。
■記述式答案・論文式答案は添削指導して返却します。
■マークシート答案は成績表を発送もしくはTAC WEB SCHOOLのマイページより確認できます。

【受講生の皆さん】
フォロー・アップ

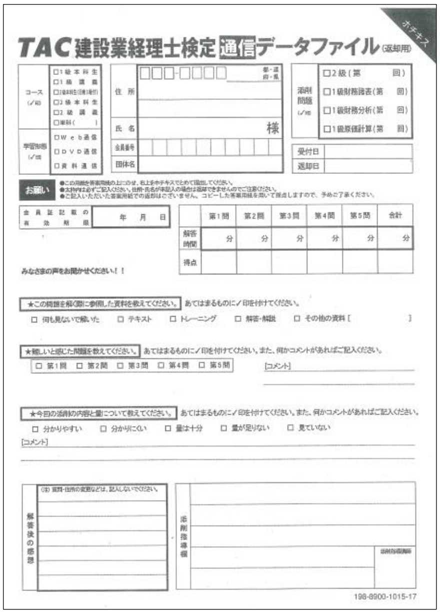
お手元に届いた答案と解答・解説等で、フォロー・アップをしっかりと行ってください。

２．答案提出上の注意

答案をご提出する際は、「データファイル」を一緒にホチキスで留めてお送りください（答案用紙にデータファイルが印刷されている場合やマークシートには必要ありません）。

データファイルには住所・氏名・会員番号等を書く欄がありますので、必ずご記入ください。特に住所・氏名欄は、返却時にそのまま宛名として使用しますので、楷書で丁寧に記入してください。記入漏れ等があった場合、返却できないことがありますのでご注意ください。

◆データファイルとは？



〔添削問題用〕

〔的中答練用〕

３．答案作成上の注意

（１）論文答案

論文答案の作成は、各試験の規定に準じた筆記用具で作成してください。

（２）マークシート答案

①マークシート答案の作成は、必ずHBかBの鉛筆またはシャープペンシルで解答してください。それ以外の筆記用具（ボールペンや万年筆、色鉛筆など）で解答されているものは採点処理できません。

②会員番号・氏名・受験地区等の記入漏れや記入ミス・マークミスがあった場合、成績表が正しく表示されないことや、ご本人様のお手元に成績表が返送できないことがございます。ご記入には十分ご注意ください。

４．答案最終提出締切日

各種答練・演習には最終提出締切日がございます。通学メディア・通信メディア共通編「 7 各種サービス提供期限一覧」をご確認ください。

５．答案郵送の方法

教材送付時に同封されている専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。
専用の封筒がお手元にない場合には、市販の封筒でも構いません。
下記送付先を明記してください。その際は、表に答案在中と朱書してください。

〒 101-8383　東京都千代田区神田三崎町 3-2-18
ＴＡＣ通信教育部　行

６．お問い合わせ

答練・演習の答案返却に関するお問い合わせは、ＴＡＣ通信教育部・答案管理担当までお願いします。
※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください。

デジタル添削およびＷｅｂ閲覧のご案内

１．的中答練の答案の返却について

ご提出いただきました的中答練の答案につきましては、Ｗｅｂ上にＵＰしての掲載・閲覧となります。受付窓口での返却はございません。

２．答案の提出について

答案用紙の会員番号・氏名・生月日欄を必ずご記入ください。記載に不備がございますと、Ｗｅｂ上にＵＰできない場合がございますのでご注意ください。

３．マイページの登録について

添削後の答案を閲覧いただく際には、ＷＥＢ ＳＣＨＯＯＬのマイページ登録が必要となります。マイページ登録の仕方については、別冊『ＴＡＣ利用ガイド』をご覧ください。

４．添削答案のＷｅｂ掲載について

ご提出いただきました答案は、答案提出後もしくは答案のＴＡＣ到着後、約２～３週間で、ご登録いただきましたマイページに掲載されます。添削答案の掲載期間は、会員証有効期限まで閲覧できます。

５．添削答案の掲載場所について

添削された答案は、ＷＥＢ ＳＣＨＯＯＬのマイページの「学習記録」欄に掲載されます。
こちらのボタンよりお進みください。

3 i-support

ＴＡＣのインターネットフォローシステム「i-support」は、受講生と講師、受講生同士といった双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「**質問メール**」、学習上よくある質問をデータベース化した「**よくある質問**」、Ｗｅｂ上で情報交換ができる「**掲示板［i-コミュニティ］**」など、フォロー体制は万全です。
※お申込みいただいている講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

[パソコン画面]　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[スマートフォン画面]

◆質問メール
学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問が出来ます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフがわかりやすく丁寧にお答えします。
※回答もマイページ上でご確認いただけます。

◆よくある質問
疑問点や不明点があったら、まずは「よくある質問」をご覧ください。一般的に多い質問や他の方がすでに質問した事項をデータベースに集めてありますので、疑問に思う項目を探すことができます。

◆掲示板［i-コミュニティ］
同じ試験を目指す仲間の情報交換の場所がi-コミュニティ。言ってみればインターネット上に設けたコミュニケーションの場です。受講生同士で試験のことや学習方法など、自由にディスカッションを行うことができます。

１．ご利用方法

「ｉ-support」はTAC WEB SCHOOLのマイページよりご利用いただけます。マイページ登録をまだ行われていない場合は、[https://portal.tac-school.co.jp]にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

２．注意事項

ＴＡＣでは『i-support』の操作方法につきましてはサポートしております（お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください）が、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーにお問い合わせください。

4 スクーリング

当該講座につきましてはスクーリング制度はございません。

日程表

1 ビデオブース視聴日程・Web配信・通信教材発送日程

【1級】

2022.5.13 更新

1級財務諸表	ビデオブース 視聴開始日	Web通信 配信開始日	通信教材発送日 （講義 DVD 発送日）
1級財務諸表講義	3/22(火)	3/22(火)	3/18（金）※1
改正・総まとめ講義	6/14（火）	6/14（火）	6/10（金）※2
的中答練	7/19（火）	7/19（火）	7/15（金）

1級財務分析	ビデオブース 視聴開始日	Web通信 配信開始日	通信教材発送日 （講義 DVD 発送日）
1級財務分析講義	3/22(火)	3/22(火)	3/18（金）※1
改正・総まとめ講義	6/14（火）	6/14（火）	6/10（金）※2
的中答練	7/19（火）	7/19（火）	7/15（金）

1級原価計算	ビデオブース 視聴開始日	Web通信 配信開始日	通信教材発送日 （講義 DVD 発送日）
1級原価計算講義	3/22(火)	3/22(火)	3/18（金）※1
総まとめ講義	6/14（火）	6/14（火）	6/10（金）※2
的中答練	7/19（火）	7/19（火）	7/15（金）

※1　受講ガイド・添削問題（提出課題）の発送を含みます。

※2　Ｗｅｂ通信講座をお申込みの方へは、改正・総まとめ講義の発送教材はございません。
資料を使用する場合は、講義録に添付いたします。

【2級】

2022. 5. 13 更新

2級本科生 日商3級講義付	ビデオブース 視聴開始日	Web通信 配信開始日	通信教材発送日 （講義 DVD 発送日）
日商3級講義	3/22(火)	3/22(火)	3/18（金）※1
2級講義	3/22(火)	3/22(火)	3/18（金）※1
改正・総まとめ講義	6/9（木）	6/9（木）	6/6（月）※2
的中答練	7/19（火）	7/19（火）	7/15（金）

2級本科生	ビデオブース 視聴開始日	Web通信 配信開始日	通信教材発送日 （講義 DVD 発送日）
2級講義	3/22(火)	3/22(火)	3/18（金）※1
改正・総まとめ講義	6/9（木）	6/9（木）	6/6（月）※2
的中答練	7/19（火）	7/19（火）	7/15（金）

日商2級修了者用 2級セット	ビデオブース 視聴開始日	Web通信 配信開始日	通信教材発送日 （講義 DVD 発送日）
日商2級修了者用 2級講義	開講なし	3/22(火)	3/18（金）※1
的中答練	開講なし	7/19（火）	7/15（金）

※１　日商３級実力テスト（提出課題）・受講ガイドの発送を含みます。
※２　受講ガイド・添削問題（提出課題）の発送を含みます。
※３　受講ガイドの発送を含みます。
※４　Ｗｅｂ通信講座をお申込みの方へは、改正・総まとめ講義の発送教材はございません。
資料を使用する場合は、講義録に添付いたします。

オリエンテーション編

1 試験概要

１． 登録経理試験「建設業経理士検定」について

平成 18 年４月の法令改正により、建設業法施行規則第 18 条の３に規定する「登録経理試験」が創設されました。

それに伴い、従来より一般財団法人建設業振興基金で実施されていた「建設業経理事務士検定」の１級と２級が「登録経理試験」の実施団体の登録を受け、「建設業経理士検定試験」として実施されています。この新しい「建設業経理士検定」の１級および２級合格者は公共工事受注の際、経営事項審査の評価対象の一つとなります。

２． １級科目合格の有効期限

１級の科目合格に５年間の有効期間が設けられています。

≪有効期限のパターン≫

登録経理試験（１級建設業経理士）の科目合格者	科目合格通知書の交付日を基準として、それ以後５年の間に行われる試験で、残りの科目をすべて取得すれば、１級建設業経理士となり、合格証明書が交付される。

３．試験の概況

級別	内容	程度
１級	建設業原価計算、財務諸表及び財務分析	上級の建設業簿記、建設業原価計算及び会計学を修得し、会社法その他会計に関する法規を理解しており、建設業の財務諸表の作成及びそれに基づく経営分析が行えること。
２級	建設業の簿記、原価計算及び会社会計	実践的な建設業簿記、基礎的な建設業原価計算を修得し、決算等に関する実務を行えること。

４．試験時間

受験級		実施時間	題数
１級	財務諸表	１時間 30 分	５題
	財務分析	１時間 30 分	５題
	原価計算	１時間 30 分	５題
２級		２時間	５題

2 日商簿記検定との違い

１． ２級検定試験

日本商工会議所主催の簿記検定試験との出題内容の相違は次のとおりです。

	日商簿記検定 ２級	建設業経理士検定 ２級
現金と当座預金	○	○
手形取引	○	○
有価証券	◎	○
有形固定資産	◎	○
無形固定資産と研究開発費	◎	○
リース取引	◎	×
外貨換算会計	◎	×
税金	○	○
課税所得の算定	◎	×
税効果会計	◎	×
株式の発行	○	○
剰余金の配当処分	◎	○
社債	×	○
引当金	◎	○
本支店会計	○	○
合併と事業譲渡	◎	○
連結会計	◎	×
分割仕訳帳制度	×	△
伝票式会計	○	○
精算表等の作成	○	○
工事収益の計上	×	○
費目別計算	○	◎
部門別計算	○	◎
個別原価計算	○	○
総合原価計算	○	△
標準原価計算	○	×
直接原価計算	○	×

建設業会計の分野以外は、ほぼ同等の内容が出題されていますが、日商簿記検定試験に比べ、やや広い知識が要求される論点もあります（◎印）。△印は簡易な内容のものが出題される項目または範囲であることを示します。

２．１級検定試験

日本商工会議所主催の簿記検定試験との出題内容の相違は次のとおりです。

ここでは日商簿記検定１級商業簿記・会計学と日商簿記検定１級工業簿記・原価計算を基準に建設業１級財務諸表と建設業１級原価計算の比較を示しました。なお、建設業１級財務分析については、そのほとんどの分野が日商簿記検定１級の範囲内にないものとお考えください。簡易な内容のものが出題される項目は△印をつけています。

	日商簿記検定１級 商業簿記・会計学	建設業経理士検定１級 財務諸表
工事契約	○	○
リース取引	○	△
減損会計	○	○
資産除去債務	○	△
外貨建取引	○	△
財務諸表の注記	○	△
共同企業体会計	×	○
連結財務諸表	○	○
企業結合会計	○	△
純資産	○	○
退職給付会計	○	△
税効果会計	○	△
中間・四半期財務諸表	○	△
キャッシュ・フロー計算書	○	○

	日商簿記検定１級 工業簿記・原価計算	建設業経理士検定１級 原価計算
費目別計算	○	○
配賦差異の原因分析	○	○
部門別計算	○	○
総合原価計算（組別・等級別を含む）	○	○
連産品の計算	○	○
標準原価計算	○	○
直接原価計算	○	×
固定費調整	○	×
原価の固変分解	○	×
ＣＶＰ分析	○	×
最適ｾｰﾙｽ・ﾐｯｸｽの決定	○	×
事業部の業績測定	○	×
予算実績差異分析	○	×
業務的意思決定	○	○
設備投資の意思決定	○	○
活動基準原価計算	○	○
営業費の計算	○	△
損料計算	×	○

3 傾向と対策

１．建設業経理士検定２級

第１問対策：仕訳問題の出題になります。会社会計の分野及び建設業会計の分野から出題されており、各論点をもれなく学習する必要があります。

第２問対策：主に計算問題が出題されますが、その出題方法は文章の穴埋め形式であるため計算力と文章力の両方を身につける必要があります。また、各論点をもれなく学習する必要があります。

第３問対策：主として、建設業会計での工事間接費の予定配賦、部門別計算などが出題されているので、確実に解答できるようにする必要があります。

第４問対策：主として、原価計算の理論問題と完成工事原価報告書の作成などの計算問題が出題されています。工事別原価計算表や未成工事支出金勘定、その他の勘定との関係について、十分な理解が必要です。

第５問対策：主として精算表の作成問題が出題されているため、決算整理仕訳について必ず理解しておく必要があります。減価償却や退職給付引当金の予定計算の処理について、注意してください。

２．建設業経理士検定１級

（１）財務諸表

第１問対策：200 字～300 字程度の記述問題が小問形式で 2 問出題されます。内容的には、伝統的な会計理論から近年の新会計基準に至るまで、非常に幅広い範囲にわたって問われています。したがって、対策としては、幅広い範囲はそのままに内容をある程度基本的な部分に限定することが効率的です。会計用語（キーワード）に留意しつつ、出題論点の定義、会計処理方法等を簡潔な文章で十分ですので、広範囲にわたって書けるように練習しておくことが必要です。

第２問対策：出題形式としては、文章中における空欄箇所への適語補充（用語選択）問題です。レベルとしては高度な出題もありますが、大部分は基本的な内容である出題がほとんどですから、会計理論、会計処理に関する基本的知識を幅広く、しっかりと押さえておくことが大切です。

第３問対策：出題形式としては、与えられた文章に関する正誤判断の問題です。内容として

は、会計学総論に始まり各論については近年の新会計基準まで、様々な分野から網羅的に出題されます。会計処理の詳細部分が問われる場合もありますが、基本的な部分については判断に迷うことがないように各論点の正確な理解が要求されます。

第４問対策：出題形式としては、個別の計算問題が出題されます。個別論点からその基本的な理解・計算処理が問われますが、場合によっては特殊論点からの出題もあります。特別高度で難解な処理まではまず問われることはありませんが、苦手なところがないように、特殊論点も含め網羅的に押さえておくべきです。過去問をにらみつつ、各論点について難易度レベルを確認しながら、基本的な部分は確実にマスターしておきましょう。ほとんどの場合、比較的平易な問題が出題されています。

第５問対策：精算表作成形式の総合問題が出題されます。精算表作成では決算整理事項の正確な処理が肝要です。ただし、固定資産の減価償却や減損処理、各種引当金の設定、工事進行基準による計算等、処理する内容がおおむね決まっており、出題パターンが毎回ほぼ同じといって差し支えないでしょう。したがって、過去問を繰り返し解いて、既出の問題をしっかり確認しておくことが非常に効果的です。

（２）財務分析

第１問対策：近年、全体で約 400 字～500 字程度を解答する記述問題が出題されています。内容的には財務分析全般に関わる理論問題です。対策としては、財務分析を体系的に把握し、分析手法に関する理解を深めるとともに、各比率の計算式や定義、具体的な内容も理解しておく必要があります。

第２問対策：出題の形式は財務分析に関する適語補充（用語選択）や各指標の選択問題です。各種指標の意味や資金概念、業界の特徴に至るまで幅広く問われます。選択形式であるものの、正答に類似する用語等も混在していることから各用語や指標について正確な理解が要求されます。

第３問対策：簡単な財務数値を用いて各種指標を算定させる計算問題や損益計算書、貸借対照表の空欄推定問題が出題されます。各種指標の計算式や財務諸表の構造を理解しているかどうかが試されます。また、算定数値は割り切れないことも多く、端数処理にも注意が必要です。

第４問対策：損益分岐点分析と生産性分析に関する問題がほぼ交互に出題されております。原価の固変分解、生産性分析の各指標などを理解するといった対策が必要です。

第５問対策：実際の２期分の財務諸表を用いて、財務分析を行うといった総合的な問題が出

題されます。ここでは、様々な指標が数多く問われますので、各種指標の計算式を正確に覚える必要があります。制限時間内に完答するため、反復練習を徹底的に行いましょう。計算上の端数処理についても、第３問と同様に、注意が必要です。

（３）原価計算

第１問対策：原価計算基準、特殊原価調査、建設業特有の事前原価計算等に関して 200 字以内と 300 字以内の論述問題が２問出題されます。原価計算全般に渡って出題がされており、問われている論点や用語の定義および目的に限らず、原価計算の計算論拠を理解しておく必要があります。また、建設業特有の考え方やそれに基づいた計算処理も理解する必要があります。

第２問対策：原価計算の理論に関する適語補充問題（用語選択）や正誤問題が出題されます。原価計算の総論から各論に至るまで幅広い知識が要求されますが、計算に関する知識で多くの問題が対処できます。

第３問対策：主に建設業特有の損料計算が出題されています。出題のパターンはある程度決まっているので、計算方法をしっかりとマスターしておけば、確実に得点ができます。

第４問対策：一般的な原価計算から幅広く個別計算問題が出題されます。例えば、費目別計算、総合原価計算、標準原価計算、活動基準原価計算、工事収益の認識基準など様々です。なお、最近では、特殊原価調査（業務執行上の意思決定、設備投資の意思決定）の問題が多く出題されています。そのため、関連原価や差額原価、機会原価といった原価概念の理解が必要となります。また、設備投資の意思決定ではキャッシュ・フローの見積計算ができるようにしておく必要があります。

第５問対策：工事原価計算に関する総合問題（計算問題）が出題されます。具体的には、完成工事原価報告書の作成、未成工事支出金の勘定残高の計算及び原価差異の分析計算が要求されます。毎回、同じパターンで出題されるため、難易度としては決して難しいものではありませんが、計算量が多くなるためケアレス・ミスをしないように注意が必要です。

巻末

各 種 変 更 手 続 き

現在ＴＡＣに登録いただいている内容に変更が必要な場合、**変更日の10日前までに**（必着）次ページにあります**「変更届出書」**の太枠線内の事項を楷書で丁寧に記入し、提出してください。

変更できる項目には、

１．現住所・電話番号　　２．教材送付先　　３．氏名　　４．ＤＭストップ

がございます。

【変更届出書の記入・提出方法】

変更届出書のSTEP1～4に漏れなくご記入いただき、下記のいずれかの方法で提出してください。

① 各校受付窓口に提出

② 郵送で提出

＜郵送先＞　〒101-8383　東京都千代田区神田三崎町3-2-18ＴＡＣ情報システム部

③ ＦＡＸで提出

＜ＦＡＸ番号＞　03（5276）8939

【変更届出書の記入における注意事項】

- 個人情報保護法の規範に準じまして、電話やメールでの変更は承っておりません。必ずご本人が記入・申請をしてください。
- 右上「記入日」欄も正確にご記入ください。
- 楷書で丁寧に記入してください。記載内容が不明の場合、変更のお手続きができません。
- 通信メディア（DVD通信講座・Web通信講座・音声DL通信講座・資料通信講座）で受講の方は、教材発送日の10日前までに「現住所」または「教材送付先」の変更手続きが完了していませんと、正しい住所に送付されない場合がございます。
  なお、海外への教材発送は行っておりません。
- ＤＭストップを希望された場合でも、学習上重要なご案内（日程変更・正誤表・全国公開模試の案内等）は送付される場合がございます。
  ※学習上重要なご案内は、受講されている講座・コースにより異なります。

＜キリトリ＞

建設業経理士検定講座　質問カード

2022年 9月合格目標

【ビデオブース講座用】　～ご協力をお願いします～
回答対象：合格目標年月本試験日の2週間前までのTAC受付分。
利用に際しての上限回数：受講ガイドP.12を参照してください。

氏名	様（　　　校）
TAC会員番号	※ＴＡＣ会員番号(10ケタ)をご記入下さい。
申込コース	（　）１級（科目名：　　　　　　） （　）２級、２級（日商３級講義付）
受講形態	ビデオブース講座
教　材	
科　目	
ページ	テキストVer.

※コース、教材名は詳しく記入してください。
※教材名のないもの、試験対策と直接関係のない質問は受付できません。
※質問カード１枚につき、１件の質問にしてください。
※本カードが複数枚必要な場合は、事前にコピーをしてください。

質問事項：

≪ご質問ありがとうございました。受付窓口へご提出ください。≫

回　答：１．添付資料をご参照ください。　２．下記回答をご参照ください。

講師名：

＜キリトリ＞

建設業経理士検定講座　質問カード

2022年 9月合格目標

【通信メディア用】　～ご協力をお願いします～
回答対象：合格目標年月本試験日の2週間前までのTAC受付分。
利用に際しての上限回数：受講ガイドP.12を参照してください。

氏名	様
TAC会員番号	※ＴＡＣ会員番号(10ケタ)をご記入下さい。
申込コース	（　）１級（科目名：　　　　　　　　） （　）２級、２級（日商３級講義付） （　）日商２級修了者用２級セット、その他
受講形態	（　）ＤＶＤ通信講座　・　（　）Ｗｅｂ通信講座
教材	
科目	
ページ	

※コース、教材名は詳しく記入してください。
※教材名のないもの、試験対策と直接関係のない質問は受付できません。
※質問カード１枚につき、１件の質問にしてください。
※本カードが複数枚必要な場合は、事前に両面コピーをしてください。
※裏面に返却先の住所氏名を記入してください。

送付先　〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町3-2-18
ＴＡＣ建設業経理士検定講座　行

質問事項：

≪ご質問ありがとうございました。裏面に返却先の住所と氏名を忘れずご記入ください。≫

回　答：１．添付資料をご参照ください。　２．下記回答をご参照ください。

講師名：

＜キリトリ＞

建設業経理士検定講座　質問カード返却用データファイル

住　所	□□□-□□□□　都・道　府・県
氏　名	様
会員番号	

≪返却用データファイル記入上の注意≫

◎ 住所・氏名・会員番号は漏れなく記入してください。

◎ ご記入いただいた住所に回答済み質問カードを郵送返却いたしますので、丁寧に記入してください。

✤お問い合わせ先一覧✤

「ＴＡＣ利用ガイド」「講座別受講ガイド」「TAC WEB SCHOOL」等をご覧の上でご不明な点がございましたら、お手数ですがお問い合わせをお願いいたします。
なお、よくあるお問い合わせをまとめたサイトもご用意していますので、ご参照ください。

お問い合わせ窓口一覧・よくあるご質問
https://www.tac-school.co.jp/toiawase

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	営業時間※
教材内容、学習内容の質問に関して	通学メディア・通信メディア共通編「5質問・相談について」をご参照ください。	
TAC WEB SCHOOL のマイページ登録に関して	0120-551-980 ws@tac-school.co.jp	月～金 10:00～19:00 土・日・祝 10:00～17:00
TAC WEB SCHOOL のＷｅｂ・音声ダウンロード操作に関して	0120-065-355 ws@tac-school.co.jp	
通信講座の教材発送に関して	0120-509-194 tushin@tac-school.co.jp	
通信添削答案・質問カード返却、教育訓練給付制度添削課題に関して	03-5276-8534	日・祝を除く 10:00～17:00
受講申込に関して	各校受付 ＴＡＣ ＭＡＰを参照してください。 ※インターネット申込はこちら https://ec.tac-school.co.jp/	9:00～19:00 ※日曜日は18:00まで ※地区により営業時間が若干異なる場合がございます。詳細は直接お問い合わせください。
各講座パンフレットの請求に関して	ＴＡＣカスタマーセンター 0120-509-117	月～金 9:30～19:00 土・日・祝 9:30～18:00
ＴＡＣ出版書籍のご購入に関して	ＴＡＣ出版 「CYBER BOOK STORE」 https://bookstore.tac-school.co.jp/	―

※電話による学習内容の質問は受け付けておりません。
※営業時間は変更となる場合もございますのであらかじめご了承ください。

変更届出書

STEP 1　お客様情報　全てご記入ください。

記入日	20　　年　　月　　日

会員番号			
フリガナ	姓	名	生年月日
氏　名			昭和 ・ 平成　　年　　月　　日
教育訓練給付制度	現在 教育訓練給付制度を、（　利用している　・　利用していない　）　（どちらかに〇をしてください）		

※お預かりした個人情報は、お客様の同意なく
業務委託先以外の第三者に開示、提供することはございません。

STEP 2　変更事項　変更項目に◯印をし、変更希望日を記入してください。　※メール配信解除をご希望の方は下記参照

変更項目	1.　現住所・電話番号　　2.　教材送付先　　3.　氏名（STEP4で変更）　　4.　DMストップ
変更日	20　　年　　月　　日　から 変更を希望します。

STEP 3　受講講座・コース

受講確認	現在 いずれかの講座・コースを、（　受講している　・　受講していない　）　（どちらかに〇をしてください）
受講形態	通学　（　教室　・　ビデオブース　）　／　通信　（　DVD　・　WEB　・　DL　・　資料　）　（該当する項目全てに〇をしてください）

	00.簿記検定		01.アクセス(会計士)		02.公認会計士		03.税理士		03.経理/税法/病院/法務		03.経営学検定
	03.個人情報/マイナンバー		04.情報処理		05.宅地建物取引士		06.社会保険労務士		07.行政書士		09.米国公認会計士
	09.米国税理士		09.米国公認管理会計士		10.中小企業診断士		11.証券アナリスト/CFA®		11.証券外務員/PB		11.貸金業務取扱主任者
	12.不動産鑑定士		13.FP/DCプランナー		13.相続検定		14.公務員（国総・外専）		17.公務員(地上・技術・警消)		19.建設業経理士検定
	20.司法試験		21.弁理士		22.BATIC®		24.司法書士		25.ﾏﾝｼｮﾝ管理士/管理業務主任者		25.賃貸不動産経営管理士
	29.パソコン/CompTIA		31.ビジネス実務法務検定試験®		31.ビジネスマネジャー検定試験®		32.通関士/貿易実務検定®		33.公認内部監査人(CIA)		35.電験三種
	36.知的財産管理技能検定®		37.ビジネス会計検定試験®		38.IPO実務検定		38.財務報告実務検定		41.ビジネスプロ養成		66.建築士
	67.年金検定		68.TOEIC®L&R TEST対策		69.教員採用試験		76.ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ®検定				

STEP 4　変更内容　変更後の内容をご記入ください。記入内容の通りに登録されますので、楷書で丁寧にご記入ください。

変更後 現住所等	フリガナ	姓	名		
	氏　名				
	現住所 （全角45文字以内。都道府県,建物名もご記入ください。）	郵便番号	〒　　－	電話番号	－　　－
		都道府県・市区町村			
		町名・丁目・番地			
		建物名・部屋番号			
	教育訓練給付制度	教育訓練給付制度をご利用の方　住民票の変更　（　有　・　無　）　（どちらかに〇をしてください）			

◎現住所とは異なる送付先を希望する場合のみ下記枠内にご記入ください。
◎以前に送付先を登録され、引き続き、同じ送付先を希望する場合もお手数ですがご記入ください。

送付先指定	送付先指定期間	1.　20　　年　　月　　日 まで変更　／ 2. 受講期限終了まで変更 （どちらかに〇をしてください）			
	教材送付先 住所 （全角45文字以内。都道府県,建物名もご記入ください。）	郵便番号	〒　　－	電話番号	－　　－
		都道府県・市区町村			
		町名・丁目・番地			
		建物名・部屋番号			

※STEP1～4に記入漏れがないか、もう一度ご確認ください。　※メール配信解除はこちらへアクセスの上、ご自身でお手続きください。

http://web.tac-school.co.jp/mailmagazine/cancel.html

備考欄

受付記入欄				処理欄		SYS保管欄	
受付日	受付地区・チェック項目	変更項目NO.	受付者	処理日	処理者(自著)	保管日	保管者
20　　年 ／	(　　　　　)校・部・カスタマー・営業・他(　　　　　) □本人申請 □本人以外申請(　　　　　)　例:(親)※DMストップ時のみ □通信生 通信へFAX　□給付金利用者 給付金Gへコピー			20　　年 ／		20　　年 ／	